

～ただいま商仲～

髪工房 Polish

今回は、南清水町の髪工房 Polish (パリッシュ) の坪田 和宏 さんにお話を伺いました。



和宏さんは湖東中学校卒業後、大津市瀬田の理容店で住み込みをしながら理容学校に1年間通われました。

卒業して1年後に理容師免許を、更に管理理容師を取得されました。20歳から近江八幡市内の理容店から彦根市内の理容店、そして愛荘町内の美容室で修行をされ、25歳で今の髪工房 Polish を開店されました。

和宏さんは地元の方々に愛され、コツコツと営まれ、今年で13年目を迎えられます。

信念は、お客様に合わせたベーシックな理容店を営み、一人ひとり精一杯、一生懸命やらせていただくこと。好まれる服装やデザインに繋がるヘアスタイルの提案などをさせて頂きたいと、おっしゃいます。

店内はゆったりとした雰囲気、落ち着いた空間でした。また、東近江市の訪問理容指定店として、自宅や施設、病院に出かけ、動けないお年寄りや介護が必要な方などの理髪も行なっておられます。お気軽に電話でご相談下さいとのことです。

(Yoshiki)

「髪工房 Polish」

東近江市南清水町

TEL 0749-45-0903

IP 050-801-1347



地域の話

期待の二人！！



サッカーの湖北トレセン選抜選手(中学1年生の部)に湖東中学校から今村 奎心(いまむら けいしん)君と岡田 凌汰(おかだ りょうた)君の2名が選抜されました！！早速、お二人にインタビューしてきました。

☆ 岡田君(写真右)

「もっと練習してうまくなってプロで活躍できる選手になりたいです」

☆ 今村君(写真左)

「プロのサッカー選手になりたいです」

今後のご活躍を期待しています。

(Kaorin)

～まちの話題②～

今村 市良さん

(小池町)

日展入選！



本紙20号で紹介しました今村 市良 さんが、日本を代表する展覧会と言われる日展(日本美術展覧会)に今年初めて日本画を出品し、その作品がみごとに入選しました。

タイトルは、「忘れられし物」。小田町地先の工場跡地にあった焼却炉を描いたものです。作品は150号キャンパス(畳2枚半)で、実物を超えた大きさです。

今村さんにとって日展初入選はピラミッドで表現するなら底辺、まだスタート地点だとか。

“なかなか厳しい世界ですね”

今村さんの絵の才能を認められたのは、高校の美術部顧問の先生です。その先生の薦めで高校卒業後は掛け軸画を習い、絵師としての道を歩むことになりました。今は掛け軸の制作をしながら日本画の先生に手ほどきを受けています。

平成14年に「てんびんの里を描く日本画コンクール」で優秀賞を受賞して以来「湖国を描く」や「日春展」など毎年コンクールで入賞されています。

日本画の魅力は何といっても岩絵具にあるそうです。“さんご”や“めのう”など天然の原石を粉にして精製したもので、この難しい岩絵具を使いこなすという技術が日本画のとても大事なベースであり出発点でもあるのです。

描いていくうちに行き詰まることもあるそうです。そのような時は、絵に水をかけ絵具を拭き取り、その上に絵を重ねることで以前の色が浮き出て深みのある作品に仕上がるそうです。

今村さんは、「健康でいる限り絵は描きつづけてたい。機会があれば湖東地区で個展を開きたい」と話されました。

(Miyako)



これが入選作品！！

第43回 日展 京都展

【場所：京都市美術館 期間：12/10～1/13】

今村さんの日本画をはじめ洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門が展示されています。

ここだけの耳より情報

1月から2月末までの平日サービス！

「髪工房 Polish」では、広報誌を見たよ！と散髪時に告げれば、新規の方に限りなんと“1000円オフ”していただけます (*^_^)